

学習意識調査結果の概要

【小学校5年生】

■全国と比較して差異の大きい質問 ～肯定的な回答の多いもの～

問題	設問	出題内容	肯定的な回答		差
			札幌市	全国	
問1③	帰宅後の実態	テレビゲームなどのゲームをする。	56.0	48.2	7.8
問5⑥	社会的実践力	お年寄りや障がいのある人に、自分から進んで手助けをしたことがある。	52.4	44.9	7.5
問3④	感じ取る力	ふだんから「ふしぎだな」「なぜだろう」と感じることもある。	74.7	68.7	6.0
問12①	家庭での指導・活動	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でするように、言われている。	81.2	75.5	5.7
問3⑯	基本的な生活習慣	朝、自分で起きることができる。	71.2	65.6	5.6
問1④	帰宅後の実態	パソコンやインターネットをする。	28.2	22.6	5.6
問4④	直接体験	インターネットを使って何かを調べる。	61.5	56.2	5.3
問1⑨	帰宅後の実態	家のお手伝いをする。	56.8	51.7	5.1

- ・肯定的な回答について全国と比較して上回った割合が最も大きい質問は、帰宅後の実態で「テレビゲームなどのゲームをする」かどうかについてであった。肯定的に回答した割合は、札幌市が56.0%、全国が48.2%となっており、7.8ポイント上回っている。
- ・帰宅後の実態で「パソコンやインターネットをする」、また「インターネットを使って何かを調べる」という質問について肯定的に回答している割合は、5ポイント程度全国を上回っている。パソコンやインターネットの活用度が全国と比べて高い様子が見える。
- ・「お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある」という質問については、小・中学校ともに全国を上回る結果となっている。

■全国と比較して差異の大きい質問 ～肯定的な回答の少ないもの～

問題	設問	出題内容	肯定的な回答		差
			札幌市	全国	
問4⑤	帰宅後の実態	地域での活動に参加する。	38.7	48.4	-9.7
問8⑧	自宅学習習慣	宿題はきちんとやっている。	77.3	83.3	-6.0
問14⑥	学校での指導・活動	先生から、がんばっている先輩や友達についての話を聞く。	39.0	44.4	-5.4
問6⑬	授業を受ける姿勢	熱心に授業を受けている。	57.4	62.8	-5.4
問14③	学校での指導・活動	友だちの悩みについてみんなで話し合う。	41.1	46.4	-5.3
問6②	自己責任	同じまちがいをくり返さないように気をつけている。	79.2	83.5	-4.3
問1⑥	帰宅後の実態	ピアノや英会話などの習い事に通う。	9.8	13.8	-4.0
問1⑧	帰宅後の実態	学習塾に通う。	6.6	10.5	-3.9

- ・全国と比較して肯定的に回答した割合の差異の最も大きい質問は、帰宅後の実態で「地域での活動に参加する」かどうかについてであった。肯定的に回答した割合は、札幌市が38.7%、全国が48.4%となっており、9.7ポイントの差となっている。
- ・「宿題はきちんとやっている」という質問について肯定的に回答した割合は77.3%であり、約8割の児童が自宅での学習習慣を身に付けている様子が見えるが、全国と比較すると6ポイント下回る結果となっている。

【中学校2年生】

■全国と比較して差異の大きい質問 ～肯定的な回答の多いもの～

問題	設問	出題内容	肯定的な回答		差
			札幌市	全国	
問4⑩	基本的な生活習慣	朝、自分で起きることができる。	73.9	66.7	7.2
問6⑥	社会的実践力	お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある。	50.4	44.5	5.9
問1⑧	帰宅後の実態	学習塾に通う。	22.0	16.3	5.7
問9⑩	自宅学習習慣	興味を持ったことを、自分から進んで学習している。	60.4	55.4	5.0
問13①	家庭での指導・活動	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でするように、言われている。	82.8	78.2	4.6
問1①	帰宅後の実態	友だちと外で遊ぶ。	15.5	11.6	3.9
問5①	直接体験	自然の中で遊んだり、活動したりする。	65.1	61.2	3.9
問4④	感じ取る力	ふだんから「ふしぎだな」「なぜだろう」と感じることもある。	74.4	70.7	3.7

- ・肯定的な回答について全国と比較して上回った割合が最も大きい質問は、「朝、自分で起きることができる」かどうかであり、全国よりも7.2ポイント上回っている。また、家庭で「食器の後かたづけなど、自分のことは自分でするように、言われている」という質問で肯定的に回答した割合は全国よりも4.6ポイント上回っている。基本的な生活習慣に対する家庭での指導に配慮がなされている様子が見えてくる。
- ・帰宅後の実態で「学習塾に通う」と回答した割合は、全国よりも5.7ポイント上回っている。また、自宅学習習慣で「興味を持ったことを自分から進んで学習する」と回答した割合は、全国よりも5.0ポイント上回っている。一方、「友達と外で遊ぶ」と回答した割合は15.5%と低いものの、全国よりも3.9ポイント上回っている。

■全国と比較して差異の大きい質問 ～肯定的な回答の少ないもの～

問題	設問	出題内容	肯定的な回答		差
			札幌市	全国	
問5⑤	帰宅後の実態	地域での活動に参加する。	25.3	33.4	-8.1
問15⑥	学校での指導・活動	先生から、がんばっている先輩や友だちについての話を聞く。	33.6	41.6	-8.0
問4⑭	通学意欲	学校に行くのが楽しい。	68.2	71.8	-3.6
問4⑦	学習動機	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	62.0	65.6	-3.6
問9⑤	学習定着の方略	授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	44.5	47.9	-3.4
問6⑤	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	57.7	61.0	-3.3
問15②	学校での指導・活動	町の先生やゲスト・ティーチャーから、学習や活動についての感想やアドバイスをもらう。	21.1	24.2	-3.1
問4⑬	授業を受ける姿勢	人の話は最後まで、きちんと聞いている。	69.6	72.5	-2.9

- ・全国と比較して肯定的に回答した割合の差異の最も大きい質問は、帰宅後の実態で「地域での活動に参加する」かどうかについてであり、小学校と同様の結果となっている。肯定的に回答した割合は、札幌市が25.3%、全国が33.4%となっており、8.1ポイント下回っている。
- ・「学校に行くのが楽しい」と回答した割合は68.2%であり、約7割の生徒が肯定的に回答しているが、全国と比較してやや下回る結果となっている。